

令和4年度東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会直播研究会
及び水稲直播等低コスト技術検討会開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔

1. 趣 旨

水稲直播等の低コスト栽培技術は、稲作の低コスト化・省力化を図り、作期分散による経営規模の拡大、経営の複合化による所得向上の実現を目指していく上で重要な技術である。特に、「飼料用米・WC S用稲・米粉用米・輸出用米」などの新規需要米や加工用米など原料米の生産に当たっては、収量の飛躍的向上と併せて、直播栽培導入等によるコスト削減が求められているところである。

このような状況を踏まえ、東北管内における直播栽培等の低コスト技術の一層の普及・拡大、直播栽培を取り込んだ輪作体系の構築等を図って行く上での課題や、これらの解決に向けた技術開発、普及推進の方法等を検討する。

2. 主 催 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター
農林水産省東北農政局生産部

3. 開催日時 令和4年8月24日(水) 13:30~16:00

4. 開催方法 Web開催(Zoomで開催予定)

5. 議 事

(1) 農林水産省、メーカー、県市町村および農研機構からの情報提供(70分)

①水稲の直播栽培及び米の生産コストの低減について

農林水産省農産局穀物課

②ドローンを活用した水稲直播栽培(仮題)

株式会社オプティム 農業事業部 サブマネージャー 小林 健史 氏
石川県農林総合研究センター 育種栽培研究部 専門研究員 有手 友嗣 氏

③ドローンを活用した直播実証実験について

株式会社アグリシップ 代表 佐藤 広幸 氏
燕市産業振興部農政課農政企画係 主事 稲村 百合香 氏

④高密度播種苗移植栽培における薬害リスク(仮題)

農研機構中日本農業研究センター 転換畑研究領域栽培改善グループ グループ長補佐
内野 彰 氏

~~~~休憩(10分)~~~~

(2) 水稲直播を行っている実証事例紹介、質疑応答(15分)

青森県

(3) 直播栽培、密苗栽培等、低コスト生産に係る意見交換(45分)

(4) その他(情報提供等)

## 6. 参集範囲

東北6県の行政・普及部局、公設試験研究機関及び試験研究を担う地方独立行政法人、水稲直播研究会、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター、東北農政局、「知」の集積と活用場「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他運営責任者が必要と認める者

## 7. 参加申込み等

### (1) 参加申込み

東北6県の公的機関：県行政部局におかれては、県内の参加者（県行政・普及部局、試験研究機関）を「別紙1 参加申込書」に取りまとめ、8月18日（木）までに下記事務局（東北農政局生産部生産振興課）あてEメールにて報告してください。

上記以外：機関ごとに参加者を「別紙1 参加申込書」に取りまとめ、8月18日（木）までに下記事務局（東北農政局生産部生産振興課）あてEメールにて報告してください。

### (2) 作成資料

上記5の(1)～(3)の議事のため、各情報提供担当者及び東北6県担当におかれては、「別紙2 資料作成要領」を参照の上、資料の作成及び提出をお願いします。

## 8. 事務局（問い合わせ先）

### (1) 【参加申込先】

東北農政局生産部生産振興課内（担当：新井、佐藤）  
住所：仙台市青葉区本町3-3-1（仙台合同庁舎A棟）  
TEL：022-263-1111（内線4282、4087）  
E-mail：daichi\_arai350@maff.go.jp 及び yudai\_sato700@maff.go.jp

### (2) 東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会直播研究会事務局

農研機構東北農業研究センター技術適用研究チーム（担当：古畑）  
住所：岩手県盛岡市下厨川字赤平4  
TEL：019-643-3585 FAX：019-641-7794  
E-mail：furuhata@affrc.go.jp

## 9. その他

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の対応をお願い致します。

- ・リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三密の状況にならないよう留意するとともに、出席者には検温、手指消毒の励行および発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。
- ・万一、会議出席者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。